



能登半島地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。  
またフィンランド共和国政府と国民の皆さまから寄せられたお見舞いの言葉に  
深く感謝申し上げます。

皆さま

このたび私はフィンランドでの任を終えて、日本に帰国致します。  
当国在勤中に皆さまから頂いたご厚誼に厚くお礼を申し上げます。  
どうも有難うございました。

この2年間、フィンランドは、ロシアのウクライナ侵略、NATO加盟、エネルギー・物価高など経済困難、総選挙・政権交代、そして現在は大統領選挙と大きな出来事に直面してきました。

その中で、新型コロナウイルス感染収束を受け、日本とフィンランドの関係は、日フィン友好年 2022、サンナ・マリン首相の訪日、高円宮妃殿下のフィンランドご訪問、上川外務大臣のフィンランド訪問、防衛・安保分野を含む交流・協力など、とても順調に進みました。

日本大使館も、本格的に外交活動を再開しました。3 年ぶりに天皇誕生日祝賀レセプション、自衛隊記念日レセプションを開催し、また元帰国留学生等との会合(「さくらとすずらの集い」)など多くの行事を実施しました。

そうした時期に当国で大使を務められたのは、とても幸運であったと思います。

フィンランドでは多くの方々から親切にして頂きました。  
ヘルシンキはもとより、ラハティ、サヴォンリンナ、ミッケリ、オウル、ユヴァスキュラ、ラヌア、ロヴァニエミ、ヴェイッコラ、タンペレ、トゥルクなどでの沢山の出会いは、ずっと私の心の中に残って行く事でしょう。  
皆さまにはご一緒出来て心から感謝しています。

いま、私は、個人的には、若き日にスペインのサラマンカで学んだ通り、  
「Todo lo bueno tiene un final : 良い事には何でも終わりがある」を実感しつつあります。

ですが、日本とフィンランドの関係は、これからも発展を続けて行きます。  
それは、「信頼のパートナーシップ」です。  
日本大使館はそのために引き続き尽力して参ります。  
皆さまのご助力をどうぞ宜しくお願い致します。

日本に帰国後、私は 40 余年の外交官生活を終えます。  
その最後をフィンランドで締めくくることが出来て、とても幸せです。  
改めて、皆さまにお礼を申し上げますと共に、健康とご発展を祈念致します。

どうも有難うございました！

2024 年 1 月

駐フィンランド日本国大使  
藤村 和広

